



ジャスティス

JUSTICE

ジェイアール・イーストユニオン

発行責任者 菅野一位
編集責任者 瀬戸信作

〒105-0021
東京都港区東新橋2-8-28
TEL (J R) 057-7333
TEL (NTT) 03-6452-9687
ホームページ

<http://jrteu.com/index.html>

基本理念 社員で考え社員のための労働運動を目指す、企業内労働組合心とところをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

組織拡大

11/14 付け

東労組の違和感だらけの運動から脱却！
仙台地本で平成採用者が加入
「大きな決断と勇気を持って」

仙台地本で組織拡大

仙台地本宮城県分会設
備に於いて十一月十四
日、一名の組織拡大が報
告されました。

イーストユニオン全員
が新たな組合員を迎える
ことを喜び、心から大歓
迎します。

本人は、「東労組の運
動に違和感を覚えていた
が組合員が多いというこ
とで何となく加入してい
ました。最近、自分の組
合感と一番近い組合に加
入したいの思いが日増
しに強くなり、意を決し
イーストユニオンに加盟
することを決意しました。」
と述べています。

本人の決断に大きな影
響を与える要因として、
JR連合が進めてきた民
主化闘争の成果として会



社と東労組の関係が是
是非の関係になってきた
ことだと考えています。
現実的に会社の労政状
況は、加入する組合で差
別選別をしないようになっ
ています。

組合活動は人格形成

イーストユニオンは、
会社と向き合う企業内労
働組合として会社との信
頼関係を築かなければな
らない大切さを認識して
います。そのため物の
見方、考え方は、社員と
して組合員として人とし
て、将来の人格形成にも
役立つものであると認識
しています。

喜びの連鎖を 拡大しよう！

今後とも、イーストユ
ニオンに信頼をあずけ、
安全で安心して働ける職
場づくりを考える良識あ
る社員が多数加入したい
と思わせる、そして実際
に加入してもらえよう、
今まで以上に、働く時は

はシツカリ働き、言うべ
き時にはシツカリ発言す
ることを願います。
また、組織拡大に向け
た取り組みは継続的に進
めていきます。そして、そ
して組織拡大で仲間を迎え
入れる『喜び』の連鎖を
皆で広げていきましょう。
JR連合からは、「加
盟する九九単組八万一千
人の組合員は、今回加入

した組合員を心から歓迎
するとともに、更なる加
入につながる呼びかけ行
動を展開していただき、
組織拡大につなげていた
だくよう要請する」との
激励の言葉が民主化闘争
情報ZON 943に掲載され
ています。

管理者は良きリーダー

イーストユニオンが考
える労使関係、管理者の
立ち位置は、労働者の敵
ではありません。明確な
組合員であり働く仲間で
す。より良い労働環境づ
くり、ともに働く仲間
です。

2016年度、年末手当
(妥結11/17!)
基準内賃金の3.18ヶ月分
12月5日(月)準備でき次第

・会社側は、ことさら取り巻く情勢の不透明さを主張。この間の真摯な議論に感謝を述べ、会社側として最終の回答を提示。

・組合側は、会社の利益は全社員の成果、組合の要求まで届いていない。更なる社員のやる気を引き出す正当な人事評価を頼む。不満も残るが3.18ヶ月を重く受け止め、席上妥結せず持ち帰り協議の上、妥結を伝えた。



当日参加された
OB並びに諸先輩の皆さん

会 長…松田 明
副会長…大場益雄
事務長…古川吉男

〈新三役員〉 (敬称略)

JRイーストユニオン
中央本部退職者連絡会、
第二回総会が十一月二十六
日(土)本部会議室に於
いて関係者二十二名の参
加で開催された。
冒頭、安西本部副会長
(仙台)の挨拶後、議事
に入りました。
特に今回は相田實さん
が顧問として選任されま
した。

(中央本部)
退職者連絡会
第二回総会・開催

第二十一回 J R 連合セミナー

J R 連合を牽引する役員育成

知見を広め更なる活動の飛躍を期して

知見を広め現場で活動を

J R 連合は、十一月六日、七日、都内に於いて「第二十一回 J R 連合セミナー」を開催しました。

イーストユニオンから瀬戸中央執行委員と瀬藤新潟地本執行委員の二名が受講しました。

各単組からは、新任の中央執行委員や地方執行委員の役員二六名が受講しました。

J R 連合が取り組む政策課題や組織課題や集団行動について学びました。

一日目は、

連合会館（旧総評会館）で日本の労働運動を牽引



する施設で大きな流れと歴史を感じて欲しいとして本会場が選ばれました。

講義の目的は大まかに三点です。

- ① J R 連合を取り巻く現状と課題を認識すること。
- ② 政策課題や組織課題の解決にむけた取り組みを理解すること。
- ③ 全国の仲間との交流を深めること。

カリキュラム

◆ J R 連合運動について (J R 連合・松岡会長)

・ 国鉄改革から、まもなく三十年、J R 連合は二

五年の歴史と今後の課題。

・ 独自の組織運営が鉄道労連 (J R 総連・J R 連合) の分裂の引き金。

・ 政治との関わり、産別共闘の関わり。

・ J R 七社の連携と高速輸送 (リニアと新幹線) が将来の J R の飛躍の力

◆ 交通・政策課題の解決にむけて (J R 連合・政所部長)

・ 税制特例措置が各社に



与えるプラスの影響。

・ 自然災害対策の対応は、国・自治体・企業の納得のいく協力が大切 (被害被害の対策含む)。

・ 同一労働同一賃金を額面通り素直に理解することはできない。

◆ 連合・交通労協との関わりと J R 連合の現状 (J R 連合・河村事務局

長)

・ 連合は労働政策を重視している。交通政策は、緩やかな協議体である交

運労協が主体と成っている。

・ 非自民と反共産は大切な考え方である。連合は明確に主張すべきと考える。民進党は、もつと力

をつけてほしい。

・ 賃上げと企業の内部留保について、グループ会社の発展が無ければ J R

本体は維持できない。格差是正が大切である。

◆ 場所を変えて懇親会、その後、宿泊地の大井町へ。

二日目は、



◆ 三ヶ所 (横浜支社前、東京総合車両センター前、東京支社前) でイーストユニオンの東京地本、仙台地本、新潟地本の組合員の協力を得ながら早朝のチラシ配付を行った。

その後、衆議院第一議員会館 (会議室) へ移動して国会議事堂の見学を行った後に再び講義を受けた。

◆ 組織課題の解決にむけて (J R 連合・吉田部長)

・ グループ労組結成の働きかけ。

・ 労働組合の存在意義、J R 連合として安全を築く、組合員の雇用を守る。健全な J R グループ作り。

・ 運動の取り組みは、当たり前で常識的な行動基準。組合活動を通じて逮捕されたり、警察等に監視されるような組織は普通でない。

・ 民主化闘争とは、魅力ある組合作り。

◆ 川合孝典参議院議員より連帯の挨拶

・ 普通、会社に入るのは仕事を目的に会社に入る方は余りいません。しかし、何かのキッカケで組合活動に携わったら組合活動の大切さが分かります。

◆ 最後に

・ 二日間のセミナーに於いて J R 連合の役割や進むべき進路について何らかの気付きがあったと思います。

・ 組合は、第一に雇用、そして労働条件の維持向上が主たる目的。平和運動や政治活動は大切であります。組合活動の主と従を取り違えてはなりません。

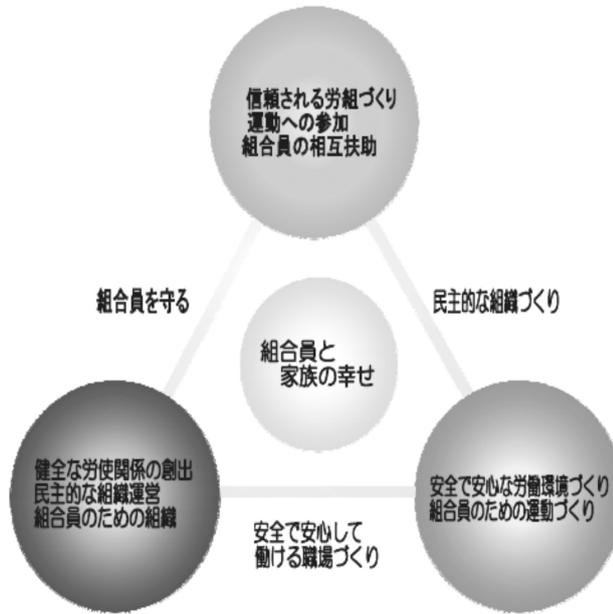
◆ 全国から集まった仲間

たちは、組合は何のために誰のために在るのか再度、自問自答しながら各自の帰路に着きました。



イーストイノベーション 2016~2018 イーストユニオンから **その4**

今回は、「変革への挑戦」と JR東日本の中に残して いきたい労働組合像



JR東日本で働く皆さんには、まずはオープンショウ制であることを理解した上で、自分自身が納得して組合を選択することが重要です。無関心に流されて組合に加入することは、労働組合を悪くする一因となつてしまします。自身の将来のためにも、労働組合の在り方について、ぜひ再考していただきたいと思います。

私たちがJR東日本の中に残していきたい労働組合像は、まず三点。

- ①業務形態と組合員環境にリンクした組織の在り方・体制への転換。
 - ②組合員世代の状況変化に伴いモバイル等と融合した運動創りへの参加。
 - ③多様な労働感による働き方の意識転換。
- などについて、「企業内労働組合」としての継承すべき原点を留めながら、JR東日本で働く社員全体が興味を示す労働変革として「イーストイノベーション」を策定します。

イーストユニオンから「変革への挑戦」組織のパラダイム

〈実践その一〉

◆組合費の改定を断行

- ・基本給の18/1000×12ヶ月分。
- ・基本給三五万円なら、388円。
- ・他の組合は19/1000+地本費で7,650円位
- ・あなたとの組合費の差額は、年間約2,900円。

パラダイムの転換

従来の世界観、考え方の枠組みが根本的に動揺、あるいは崩壊して、新しいものに転換することを意味する考え方。



もしかすると+αかもしれません。

労働組合には、お金(組合費)を払いながら、組合役員の指示を受けたいという、特異性があります。

組合大会等で決定した運動方針に沿って、加入する組合員から組合費を集めて様々な企業内等での活動を実践していきます。

その活動の成果は、組合員に何らかの形で還元されなければ労働組合に加入している意味がありません。

皆さんは、払っている組合費の成果に納得できていますか？

組合費は雇用保険ではありません。大切な組合費に無関心になると、組合役員とその組織は腐ってしまいかもれません。

組織のパラダイム

〈実践その二〉

イーストユニオンを結成し、地方を含めた機関整備が完了したことを契機に、営業部会、運車部会、設備部会とともに、管理部会を結成しました。

管理部会には、今年主務職試験に合格した中央本部委員長をはじめ、四月に発令となった新任助役・主務で結成、職場のリーダー的存在で仕事の中心となり活躍するイースト管理部会に、会社の一部経営者からも期待の声が上がっています。

イースト管理部会から、魅力ある助役職・管理者像を創造しよう。

JR東日本発足三〇年、企業としての変革時期において、将来を担うリーダー職、助役職の魅力づくりについて、イースト管理部会提言をまとめ、会社と積極的に議論していきます。

組織のパラダイム

〈実践その三〉

組織機関連体制の見直しと新役員体制への転換。

仙台地本では、支部体制をなくし分会と班体制



へ転換しました。

イーストイノベーションの一つの目玉改革としているのが、組織体制の見直しです。労働組合は、大会で決定された運動方針をもとに、本部、地本支部、分会と各所において運動づくりを要求され、様々な活動を展開していきます。しかし、中間役員や組合員はその様々な活動に狩りだされ、組合活動に自分の時間や家庭的な時間を使わなければならない実態にあります。

組織機関連の簡素化から会議の減少、中間役員の縮小を図りました。

中央本部↓仙台地本
部↓福島県分会・宮城県分会を結成し、分会の下に営業、設備、運車の各班を設置しました。これにより支部役員はなくなり、支部としての各種会議の開催も削減できました。

運動のパラダイム 〈実践その二〉

機関体制の見直しから、組合運動づくりの見直しをしました。

組合員自身の時間の持ち方を一番に考えた運動への変革を目指しました。

今回、仙台地本では支部体制を無くし、これにより支部役員、支部機関としての定期大会や委員会、執行委員会や各種会議等を無くしました。組織の簡略化により役員や組合員が活動づくりに振り回されず、働いている組合員の職場問題を一番に考えた活動づくりに変えていきます。

労使交渉のベースは地本・支社です。問題把握は現場・職場です。

企業内労働組合として、労使間のベースがどこにあるかをしっかりと押さえながら、機能的な体制で問題の集約と労使間交渉を実践していきます。過去の大衆運動が主体化した労働組合活動からの脱却を図っていきます。

運動のパラダイム
〈実践その二〉

管理者としての実感と、魅力ある現場管理者の育成

現場管理者は社員・労働者の敵ではありません。より良い労働環境づくりには、ともに働く仲間です。

労働者の原点となる職場づくりは最重要課題です。その中で職場でのリーダーとなる現場管理者は、組合員としてもリーダー的な位置づけとして職場の中で活動することから、働き方に見合った職制の地位向上と給与を含めた待遇改善が緊急の課題であると考えます。

若し管理者が実感できる魅力あるリーダー職として、社会的にも強力な裏付けを急務とした取り組みを要請します。イースト管理部会からの改善活動に取り組みしていきます。

現場管理者は社員・労働者の敵ではありません。より良い労働環境づくりには、ともに働く仲間です。

イーストユニオン春闘 2016から2017へ

イーストユニオン2015春闘は、連合やJR連合の一員として「働くことを軸とする安心社会」の構築と「デフレからの脱却」「経済の好循環実現」を目指し、JR連合の中期労働政策ビジョン(2014～2016)を基本とした「総合労働条件改善闘争」とする2016春季生活闘争方針を踏まえた、「統一ベア要求」と併

せて、月例賃金アップに拘った「諸労働条件改善」に向けた春闘を展開しました。2015春季生活闘争に向けて、JRイーストユニオンは、引き続きJR連合加盟単組として、中期労働政策ビジョン(2014～2016)に則した方針に基づき、統一ベア要求は基より、総合生活改善闘争として、特に月例賃金の引

き上げに拘る諸労働条件の改善・向上を求めながら、2015春闘闘争方針を確立して参りました。最後に、私たちは、春闘を通じた組織の強化・拡大を目指していく中で、組合指針として掲げた「イーストイノベーション2016～2018」をリンクさせながら、私たちの運動方針や団体交渉等も含めた

活動の理念を伝えることと、運動の見える化とあわせて、組合員の更なる質の向上の取り組みなどを進め、組織拡大を成し遂げなければならぬと考えています。JR東日本にJR連合の旗を守っていくために全力を尽くして参ります。

連合 2017
春季生活闘争方針
十一月二十五日(開催)
第七四回中央委員会(確認)・「底上げ・底支え」 「格差是正」でクラシノソコアゲを実現しよう!長時間労働撲滅でハッピーライフの実現を! (概要・省略)
【回答ゾーン】(ヤマ場への集中と三月内決着をめざす)
・第一先行組合回答ゾーン、三月十三日(月)～十七日(金)
◆ヤマ場は、三月十五日(水)
・第二先行組合回答ゾーン三月二〇日(月)～二四日(金)
・中堅・中小集中回答ゾーン三月二五日(土)～三十一日(金)
JR連合
「底上げ・底支え」「格差是正」の実現に向けて
2017春季生活闘争方針の決定は、二月二日、第二九回中央委員会で決定されます。

2017税制改正に向けJR連合の仲間と共に、麻生財務大臣に強力に要請!

十一月十六日、JRイーストユニオン斎藤中央執行委員を含むJR連合や各単組の役員は、2017税制改正に係る課題について、麻生太郎副総理・財務大臣・金融担当大臣に對し、二点について要請行動を実施しました。
①2017年三月に適用期



限切れを迎えるJR北海道・JR四国・JR貨物の経営の根幹を支える極めて重要な税制特例措置(二島特例・承継特例・買換特例)



イーストユニオン
2017春季生活闘争方針の決定は、二月六日、第三回中央委員会で決定します。